

今日は、東日本大震災から 10 年…長瀬小の児童に犠牲者はいなかったものの、津波によって親族の方、知り合いの方が命を奪われた方々の心の傷は癒えないと想う。早朝、掲揚塔に半旗を掲げ、校門前の「津波到来の碑」に供花し、亡くなられた方々のご冥福をお祈りした。14:46 には全校で黙祷を行う。吉田東部地区では 100 名以上の方が犠牲になったが、その中には存命であれば、今、長瀬小学校の 4 年生～6 年生に在籍していただろう乳幼児もいた。仲間たちと学び、遊び、夢を語ったであろう「私が見えなかった子供たち」に思いを馳せている。合掌。

昨日は「全校・登下校時避難訓練」を実施した。本校は「地震と津波」をセットで考えなければならぬ立地条件にあるため、登下校時の自分の居場所によって逃げる場所が変わってくる子供たちが多くいる。訓練では教員が「ここで地震・津波が来たら、どこへ？どうする？」かを子供たちと確認した。

東日本大震災では地震発災の 3 分後に「大津波警報(6m 級)」, 28 分後には「大津波警報(修正して 10m 級)」, そして 15:52 に津波第一波襲来。地震発災から津波襲来まで 66 分であった。登下校中であれば「近くの人に情報をもらおう」「防災放送を注意して聞く」などして、子供たちが「自分の身を守る行動」を取らなければならない。ご家庭でももう一度緊急避難行動を確認していただきたい。

人間にとっては 10 年, 100 年が区切りであるが、自然災害にはそんな区切りはない。地球全体が「地震活動活発期」に入ったと言う研究者もいる。

「もはや震災後ではない。むしろ震災前である。」という意識を地域で共有することが大事であろう。